ご協力いただきましたみなさま、一年間ありがとうございました！

2014年7月27日「親子の日 2014スパーフォとセッション」終了後の記念写真

一年間サポートをしてくださったみなさま、本当にありがとうございました。

◆新井美保◆石井正人◆石川勝一郎◆石原繁◆礒貝日月◆井上佳子◆猪股敏郎◆岩上まどか◆上田壮一◆内田千絵◆江口カエ◆エスケン◆大関和彦◆大高健志◆岡安香織◆ブルース・オズボーン◆実佳・オズボーン◆由良・オズボーン◆梶原美紀◆岸俊一◆吉瀬千春◆木村晋介◆木村仁美◆ジム・クーパー◆久野寛子◆熊谷正◆倉本信之◆小斎富士子◆櫻井武司◆佐藤仁◆佐藤安南◆沢田節子◆志喜屋秀壮◆志澤秀一◆志澤美里◆関智◆関宴子◆関ひばり◆袖岡敦史◆滝村雅晴◆高野勝◆高橋まゆみ◆田中勇樹◆谷口千絵◆田原佳代子◆堤哲◆手塚俊平◆中内朋子◆中村コウヘイ◆長塚かおる◆ピーター・バラカン◆樋貝吉郎◆福原義久◆古河雄太◆古田裕江◆本田努◆毎川一輝◆松井忠彦◆松井はるの◆松井ひかる◆松井博司◆松井真守美◆松崎稔◆宮崎光弘◆宮澤泰也◆宮澤恵美子◆宮庄宏明◆森下茂男◆森田わかな◆森田似季◆山辺真幸◆山田洋◆山田真理◆柚木公奈◆吉瀬千春◆吉田幸◆吉村輝幸◆横山泰介◆渡辺熱◆ビクター・ワラノフ

（あいうえお順・敬称略）

親子の日普及推進委員会
http://www.oyako.org

7月の第4日曜日は 親子の日 2014年 活動報告書

present to the future

年に1度、親と子がともに向かい合う日があったっていい。
その日を通じて、すべての親子の絆が強められたらすばらしい。
そんな願いを込めて、7月第4日曜日を「親子の日」にしたいと私たちは考えました。
2014年は、7月27日が「親子の日」。
みなさまからのご協力をいただき、
親と子の距離がぐっと縮まる数々のイベントを開催し、
多くの共感をいただくことができました。

「親子の日」は12回目！

© Photo : BRUCE OSBORN / OZONE INC. Illustration : YUIRA OSBORN Design : SETSUKO SAWADA

親子の日普及推進委員会　http://www.oyako.org

present to the future

5月第２日曜日は、母の日。6月第３日曜日は、父の日。

7月第４日曜日は、親子の日。

『生まれて初めて出会う「親」と「子」の関係を見つめることは、家族、地域、社会、そして自然をも含むすべての「環境」に敬意をはらい、平和を願うこと』という思いを込めて、「親子の日」のオリジネーターであり、米国人写真家 ブルース・オズボーン は、 2003年に７月の第４日曜日を「親子の日」にと提唱しました。

その理念に共感し、「親子の日」を『親と子がともに向かい合う日に、そしてその日を通じてすべての親子の絆が強められる日に、さらには存在することに感謝できる日に』と 親子の日普及推進委員会が発足。「親子の日」を定着させるために、さまざまな企画を実施してきました。これからも多くの人たちに、ブルース・オズボーンの願いと私達の理念が届くように、「親子の日」のメッセージを世界に向けて発信していきたいと考えています。

“present to the future” という「親子の日」のスローガンが 表すように、

「親子の日」に込めた思いは、きっと未来への宝物になると信じて、今後も活動を続けていきたいと思っています。

親子の日普及推進委員会
http://www.oyako.org

◆ブルース・オズボーン プロフィール　http://www.bruceosborn.com/

Art Center College of Designで、コマーシャル写真を専攻。1980 年の写真展「LA Fantasies」をきっかけに、日本での活動を本格的に開始。ボストン子どもの博物館の企画展「TEEN TOKYO」では、東京のティーンエージャーを撮影して展示。ボストンのMCET制作、インターネットを使っての双方向教育番組では 8 回にわたってディレクターを務め、アメリカの高校生にむけて “生の日本情報” を伝えた。1982 年から始めた「親子」写真の撮影は今年で 33 年目になり、撮影した親子の数は 5,000 組を超える。2003年より7月の第４日曜日を「親子の日」にと提唱したオリジネーターで、一般社団法人日本記念日協会にも登録。2014 年に同協会から「記念日文化功労賞」が贈られた。「親子」をテーマにした写真展は、日本外国特派員協会、横浜ランドマークタワー、山梨県立美術館、金沢 21 世紀美術館、愛・地球博園内愛知県児童総合センターなど、各地で数多く開催。2011年の６月から、「親子の日」公式プロジェクトとして東日本大震災で大きな被害を受けた被災地訪問を継続的に実施。また、「I TIE ☆ 会いたい」では、被災地の高校生を中心に写真のワークショップを実施。子どもたちの思いを発信するためのネットワークづくりを構築した。2014 年、親子をテーマにした映画「OYAKO」を完成して上映がスタートした。

＜写真集・著書＞
「親子」（デルボ出版）
「Oyako」（INKS INC. BOOKS）
「KAZOKU」（角川書店）
「ごめんなさい」（日本標準）
「反バンビ症候群」（ヒヨコ舎）
「親馬鹿力」（岩崎書店）
「この国の環境」
（アサヒビール・清水弘文堂書房）
「東日本大震災復興支援
ブックレット」
（親子の日普及推進委員会）

「親子の日」の普及推進にあたって、2014年度は右記の企業と団体のご協力をいただきました。

● 特別協賛

- オリンパス株式会社
- 第一生命保険株式会社
- オーティコン株式会社
- DAC グループ
- 三菱地所・サイモン株式会社

● 協賛

- 東京都民銀行
- キョーリン製薬ホールディングス株式会社
- ドクタープログラム株式会社

● 特別協力

- 毎日新聞社

● 協力：オリンパスイメージング株式会社／エプソン販売株式会社
株式会社円谷プロダクション／協同組合日本写真館協会／株式会社浪漫堂
株式会社アルファ

● 後援：J-WAVE ／よしもと PAPAPARK
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

● Special thanks：Spaceport Inc.／滋賀県米原市／石川県珠洲市／山口県下松市／愛知県児童総合センター／ 東京 YMCA " liby" ／ BB スタジオ広尾／ All American Supply, Inc. ／ Studio Bears ／ アライアンス・ポート／ 株式会社松竹マルチプレックスシアターズ／下松商業開発株式会社／ 国民宿舎大城／一般社団法人日本記念日協会／鵠沼海岸チャンネル／鬼頭印刷株式会社／株式会社山田製油

「東京発電大宮発電所」（小水力発電）

ENERGY GREEN

「親子の日」の活動では、グリーン電力 (1,000KW) を利用しています。

7月の第4日曜日は
親子の日

「親子の日」オフィシャルサイト　http://www.oyako.org

日・英バイリンガルの「親子の日」情報発信プラットフォームです。「スーパーフォトセッション」で撮影した写真掲載、「写真コンテスト」と「エッセイコンテスト」の入賞者発表、「親子大賞」の投票と発表、「親子ニュース」など、「親子の日」の重要な情報が常に掲載されています。

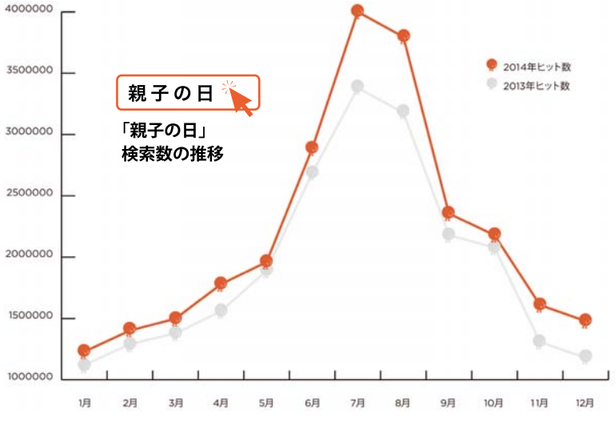
◆ オフィシャルサイト

present to the future

表紙にあらたな画像を加えイメージを変えたことで、サイトを訪れるみなさまからの高い評価をいただきました。

◆ SNSの活用

Facebook・Twitter・mixiなど、SNSの活用を加え、多くの人たちとコミュニケーションをはかりました。GoogleやYahoo!JAPANなどで「親子」と検索すると「親子の日」のオフィシャルサイトが常にトップにあり、今年も、「親子の日」への関心の高さを実感しました。



「親子の日」
検索数の推移

「親子の日」2014 年度の制作物

通常の公式事業に加えて、今年は特に映画のプロモーションにも力を入れた一年でした。
イベントが多かったので制作物も多くの人の手元に届けることができました。

◆「親子の日」ポスター

▼ オリジナルポスター《A2 サイズ…500 枚》

リーフレット▶
《三つ折り観音開き…10,000部》

▼「親子の日」フライヤー
《公式イベント紹介…30,000 枚》

フライヤーは「親子の日」の普及に欠かせません。
今回も、スタッフの工夫で素敵なカードができ、多くの人たちの協力を得てたくさんの人に手渡されました。

▼ オリジナルエコバッグ《300 枚》

エコバックのイメージは「夏休み」。
楽しいイメージのエコバッグができました。

▼ ステッカー《1,500 枚》
※協力：株式会社アルファ

ピンバッジ▶
《5,000 個》

▼映画「OYAKO」のパンフレット《1,000部》
映画の内容をまとめた素敵なパンフレットを作成しました。

7月の第4日曜日は
親子の日

親子の日 の一日

ブルース・オズボーンが 2003 年に「親子の日」を提唱して以来続けている撮影イベントが、12 回目になりました。今年も新聞や雑誌、インターネットなどを通じて公募した結果、全国からたくさんの応募者があり、その中から、例年同様、100 組の親子をご招待させていただきました。遠方から来てくださった参加者もあり、たくさんの人たちのだいじな思い出作りに、スタッフ全員で協力することができました。撮影した写真は、後日それぞれの親子に 1 枚ずつ送付。ウェブサイトとオリンパスギャラリーの展覧会で紹介しました。

撮影／宮庄宏明（オリンパス株式会社）

Ustream「親子の日」LIVE

「親子の日」当日、撮影スタジオであるBBスタジオ広尾内に放送局を開設し、スタジオの様子とともに、「親子の日」を正式制定した下松市のセレモニーの様子、沖縄で行われた映画「OYAKO」の上映劇場、イベントに参加した写真館の撮影現場など、各地をネットでつなぎ、終日中継を行いました。

ＭＣ：関 智

協力：鵠沼海岸チャンネル

7月の第4日曜日は 親子の日

スーパーフォトセッションへの応募の動機／公式イベント

★写真とテキストは対応していません

スーパーフォトセッション募集時に提出していただく応募の動機は、ご招待者を選ぶ時のだいじな基準です。スタッフは、さまざまな親子のドラマに心を打たれたり揺さぶられたりしながら100組の親子を選ばせていただきました。ここに紹介するのはみなさまから寄せられた応募の動機から抜粋したテキストの一部です。

＊今年は、私達夫婦が出会ってから20年、娘にとっては小学校最後の年という節目の年でもあります。親にとって、もうすぐ大人に仲間入りする娘の成長は嬉しくもあり、寂しくもあり複雑な心境です。自分自身の成長に戸惑う娘、あっという間の娘の成長を複雑な思いでみつめる親のおもい。
それぞれに思うところはありますが、ベースにはお互いへの深い愛情があり日々の生活を送っています。そんな私達の飾らない「いま」をぜひオズボーンさんに撮っていただきたく、応募いたします。
私達夫婦が20年前に出会えたこと、娘が私達のもとにやってきてくれて家族となれたことへの感謝を込めて、思い出に残るフォトセッションになればと願っています。

＊友人から、「あなたたちのような親子こそ参加するべきよ！」というありがたい言葉に後押しされて、応募いたします。
今回初めてしったのですが
WEBで拝見するブルースさんの親子写真は、みんなが自然体で、生き生きとした表情で、楽しそう。とっても惹き付けられました。
是非、我が一家もオズボーンさんに撮って欲しいです。
よろしくお願いいたします。

＊母子家庭がスタートし、1年があっという間に過ぎました。長女の夢はフラダンサー、長男の夢はサッカー選手、次男はヒップホップダンサーと、皆バラバラな夢を持つ子どもたちと過ごすのは体力がいるものですが、そんな時間もきっとあっという間に終わってしまうのかと思います。今しか撮れない親子の証をしっかり記録しておきたいと思い応募しました。どうぞ、よろしくお願いします！！

＊以前一度撮影していただいたことがあります。その際には素晴らしい写真を撮っていただきましたが、以来、残念ながら家族四人で写す写真は年に一枚程度、年賀状用にあわてて撮るだけのもので、今年はまだ一枚もないことに気づきました。オズボーンさんに撮っていただいた写真はまるでマジック。夫婦げんかしたとき、子どもの成長に悩んだときなど、時折振り返ることが出来る貴重な手掛かりです。これからいろいろな問題にぶつかるだろう子どもたちと一緒の姿を撮っていただいて、何かあった時にはオズボーンさんの魔法にかかろうと思います。

＊応募動機は、2004年に11才だった息子が昨年成人式を迎え現在は180cmにまで成長したこと、同時に2才だった娘も12才になり、大人顔負けの成長をとげたことがあります。初めての応募から、早いもので10年。節目の年。子供たちの成長に合わせて、ブルースさんにステキな写真を撮っていただいたことは私たち家族の財産です。

＊友人宅に遊びに行ったとき、数年前にこちらのスーパーフォトセッションで撮影していただいた写真が飾られていて、とても素敵な写真だったので、どこで撮ったのか聞いたところ、このイベントを教えてもらいました。それからこのサイトで色々な家族の写真を拝見し、それぞれの家族のカラーがみごとに違っていて、ほほえましい写真の数々に、我が家が撮ってもらったらどんな写真になるのだろう…と思い応募しました。

＊普段から仲の良い親子ですが、娘が成長するにつれ親の手から離れていく寂しさを、父親として最近特に感じています。
今のこの仲の良い瞬間を、写真で残せたら幸せです。

＊映画「OYAKO」を観た母が図書館から借りてきたブルース・オズボーンさんの写真集「親子」「KAZOKU」「ごめんなさい」を娘が見て、「自分もこういう写真を家族で撮りたい！」と珍しく自己主張。家族の記念を是非記録してください。

＊楽しくかつ心に深い感動が残る映画「OYAKO」の上映会に行ったのが応募の動機です。映画から伝わってきた躍動的で感動的で素晴らしい写真を、我が家も是非お願いしたいです。ブルースさんにお目にかかれるのを、心から楽しみに致しております。

＊娘を産んで1ヶ月後、突然母を亡くしました。自分が母になり、初めて母の想いを理解できた矢先の出来事でしたので、とても辛く落ち込みました。そしてまた、その出来事は、「自分はもう娘ではなく母なんだ」という覚悟ができた瞬間でもありました。産まれ育った家族から卒業し、自分で築いた「家族1年生」の肖像を、記念に残せれば、と思い応募しました。よろしくお願いします。

＊お腹を痛めてないけれど、生まれた日に会えなかったけど。私たち親子になりました。オズボーンさんに写真をとっていただけたら、幸せが増えます。笑顔が増えます。思い出が増えます。よろしくお願い致します。

＊ブルース・オズボーンさんの親子写真を拝見させていただく機会があり、一家族一家族が持つそれぞれの家族としての姿を映し出しているところに、とても魅力を感じました。今年の10月に結婚式を挙げることになりましたので、新たに親子になる記念に、夫になる人の両親もいっしょに写真を撮影していただきたいと思い、応募致しました。

＊映画「OYAKO」を拝見しました。映画で拝見したブルースさんの温かみのある写真はどれも素敵で、感動して涙が止まらなくなりました。そして、こんな写真を私も父と撮りたいと思ったのが、応募のきっかけです。大人になると、何かを一緒にやるということも少なくなってきます。「親子の日」の撮影会を機会に、家族一緒の一大イベントが出来たらいいなと思います。

＊もうすぐ息子が2歳の誕生日を迎えます。「生まれてきてくれてありがとう！」という気持ちと、「きみが2歳の時はこんな親子・家族だったんだよ」というも姿を、オズボーンさんのカメラで記録して欲しいと思って応募しました。

＊６年前、夫の写真嫌いで親子で撮った写真がなかったことがきっかけで応募したこのフォトセッションは、私たち家族に楽しい思い出を作ってくれました！
あれから６年の月日が流れ、小さかった娘や息子も大きくなり、私たち夫婦も歳を重ねました。小さな頃から家業で忙しくしていた義父母のもとで育ち、家族で旅行した経験もなく、揃って出かけた記憶は数える程しかなかったそうです。
家庭を持った今も、家族でキャンプに行ったりイベントに出かけたり、という事はちょっと苦手なようですが、夫の生き方や子供たちへの接し方や考えはとても素敵で、私も子供たちも尊敬しています！
そんな夫と子ども達と一緒に、また家族の思い出を増やせたら嬉しいです。
選ばれたら、５００円玉貯金で貯めたへそくりで、ど～～んと楽しい東京旅行を計画しています。

＊若くして夫（父）と娘（姉）を失い、家族に次々と起こるトラブルのために、苦労の連続だった母の心が、オズボーンさんに撮影していただくことで 穏やかになって欲しい。 人生の光と闇を生きた波乱万丈の母に親孝行がしたく、応募しました。

7月の第4日曜日は
親子の日

親子の日 2014 写真コンテスト／公式イベント

今回で 11 回目をむかえた写真コンテスト。新たな試みとして、オリンパスイメージング株式会社が運営する写真投稿コミュニティーサイト“FotoPus”で写真を公募しました。応募総数は 924 点。作品から伝わってくる親子の日常の姿を見ながら、選考会場は、ほのぼのとした温かさに包まれました。毎日新聞社において審査を行ない、22 点の受賞作品が選ばれました。

◆オリンパス賞

あゆここ（埼玉県）

どんけ（宮城県）

yamamoto（大阪府）

◆DAC 賞

タモリ（東京都）

◆DAC 旅モニ賞

Wani（愛知県）

◆トリニティーライン賞

ゆうごまま

アダン

lily-et-yuri

◆毎日新聞社賞

Sooooo（東京都）

akkoberry（愛知県）

ーあおー（神奈川県）

◆オーティコンみみとも賞

みなぴよ（群馬県）

gizumo（宮城県）

7 月の風

◆エプソン賞

キボン

◆円谷プロ賞

ｚｅｃｏｏ（神奈川県）

◆キョーリン賞

ぱんぷら（千葉県）

sachiyo2014

とよっち（神奈川県）

◆「親子の日」賞

ともちょす（大阪府）

ちびサンタ（長野県）

natsunana（大阪府）

TOPIC 兵庫県の某高校から、「親子の日フォトコンテスト」入賞者の作品を使って、写真の中の人物が交わしている会話を考えるという英語の授業が行われたという連絡をいただきました。楽しいアイディアで「親子の日」がさらに広がった、嬉しいニュースです。

選考会の感想

- ＊写真のレベルアップを感じた
- ＊作品のレベルが高いので、絞るのに苦労した
- ＊楽しんで撮っているのが伝わって、ホノボノした
- ＊選考会に参加した人も、楽しんでみんなの作品に接していたのを感じて楽しかった

親子の日 2014 エッセイコンテスト／公式イベント

第 10 回目をむかえた「親子の日エッセイコンテスト」には、703 点の応募がありました。学校単位や海外からの応募もあって、バラエティーに富んだ親子のストーリーを楽しみながら読ませていただくことができました。受賞者は以下の 20 名に決定いたしました。

◆オリンパス賞

鵜城七奈子（東京都）
「ママ」

大田美香（広島県）
「新しい世界を塗りに」

井上美貴（愛知県）
「最愛の息子へ…」

◆オーティコンみみとも賞

高司彩羅紗（大分県）
「母と車」

大西香緒（アメリカ）
「JIRO'S POP」

本間一孝（神奈川県）
「父の背中」

◆キョーリン賞

宮尾美明（愛知県）
「モーニング」

宮永富栄（千葉県）
「母をよろしくお願いいたします。」

藤元美恵子（茨城県）
「働くということ」

◆トリニティーライン賞

笹沼恵子（埼玉県）
「おじいちゃんの正体」

伊丹芳乃（千葉県）
「りゆて、ゆてり、てりゆ」

徳山 嵩（神奈川県）
「父親の虚像」

◆毎日新聞社賞

村松祐輔（神奈川県）
「これからは」

原田裕香（愛知県）
「学校のなかに、お父さんがいる」

桃子マキー（北海道）
「パチンコと父さん」

◆エプソン賞

加来安代（東京都）
「掃除機」

◆円谷プロ賞

森文 明（長崎県）
「Ａ・Ｂ・Ｃ？」

◆「親子の日」賞

山梨亜希子（東京都）
「夢の世界一周」

林 大貴（兵庫県）
「タンポポの綿毛」

側島レン（岐阜県）
「失敗して気づいたこと」

入賞したすべての写真とコメント、エッセイはウェブサイトでご覧いただけます。

TOPIC 「母と車」で、オーティコン みみとも賞を受賞した高司彩羅紗さんから、校内放送で自分の作品を発表したという連絡をいただき、受賞した喜びが伝わってきました。他にも、受賞作品をラジオで紹介したという連絡もいただきました。今後のコンテストの広がりが楽しみです。

選考会の感想

- ＊プロのライターと違った柔らかな視線がよかった
- ＊ささやかなことを喜べる…という「平和」を感じた
- ＊年齢によって感じることが違うのが印象的だった
- ＊いろいろな人生があって親子像があるんだと改めて感じた
- ＊ゾクッ！とするような、心に伝わってくる作品に出会って感動した
- ＊自分も投稿してみたい

7月の第4日曜日は
親子の日

オリンパス株式会社

「親子の日」のはじめての協賛企業であるオリンパス株式会社。活動の応援がスタートしてから、今年で 11 年目となりました。例年同様、オリンパス株式会社の公式ホームページのトップで「親子の日」を告知していただいたほか、新たな試みとして写真投稿コミュニティーサイト“FotoPus”（運営：オリンパスイメージング株式会社）のプラットフォームで「親子の日写真コンテスト」を実施しました。スーパーフォトセッションには、社員のみなさまにも運営をお手伝いいただきました。また、オリンパスイメージング株式会社の協力のもとに開催した共催イベント「親子の日」の写真展も 10 回目を迎えることができました。

2014 年に発売されたデジタル一眼カメラ OLYMPUS PEN Lite E-PL7 の海外向け PR に、ブルース・オズボーン親子が出演したことも報告させていただきます。PEN E-PL7 の魅力と親子のコミュニケーション力が伝わるムービーは非常に好評で、YouTube にも公開されています。

https://www.youtube.com/watch?v=Ml4RCF8Uzt0

オーティコン株式会社

特別協賛企業として「親子の日」を応援してくださっているオーティコン株式会社は、昨年に引き続き「親子の日」当日のスーパーフォトセッションに、全国各地から 5 組のお客様をご招待。恒例になった「みみとも親子ツアー」（交流を深めるために、参加者全員が「親子の日」スーパーフォトセッション前日に上京して東京見物をする）は、「親子の日」とのコラボレーションとして効果的な企画で、撮影した写真は参加した親子の思い出の 1 コマとなる素敵なプレゼントとなりました。また、オーティコン補聴器を販売する、株式会社琉球補聴器（本社：沖縄）の協力で「沖縄の親子」撮影会や、沖縄の桜坂劇場で、「親子の日」当日に、映画「OYAKO」を上映するなど、年間を通じてのプロモーションによって、「親子の日」を盛り上げてくださいました。

沖縄の親子撮影が終わって

第一生命保険株式会社

昨年に続いて特別協賛企業として応援をしてくださった第一生命保険株式会社は、「親子で！家族で！スマイルキャンペーン 2014」を実施。TSUTAYA とのコラボレーション企画を実施。キャンペーンの応募者 4,000 名様には、TSUTAYA が選んだ親子で楽しめるアイテムがプレゼントされました。

▲親子アンケートに答えた人には TSUTAYA の図書券が当たるというキャンペーンも、W チャンスとして実施されました。

DAC グループ

DAC グループは、「親子の日」特別協賛企業となった昨年に設立された一般社団法人 DAC 未来サポート文化事業団の主催で、第 2 回「親子の日絆 (KIZUNA) コンクール」を実施。今年も、台東区立小学校 3 年生～ 6 年生を対象に作文＋絵（もしくは写真）の作品を募集しました。審査会は、ブルース・オズボーンを審査委員長に迎えて行い、最優秀賞と優秀賞を選出。最優秀賞として選ばれた 3 組の親子には、特典として 11 月 22 日～ 24 日、大分県杵築市旅行が贈られ、絆（KIZUNA）コンクールの趣旨のとおり、大自然の中で親子の絆を確かめ合ってきました。

◀ ＜ OyakoKizuna_contest ＞　受賞者の 3 人と DAC の石川社長とブルース・オズボーン

三菱地所・サイモン株式会社

今年あらたに特別協賛企業に加わってくださった三菱地所・サイモン株式会社は、あみ（茨城県稲敷郡阿見町）と、酒々井（千葉県印旛郡酒々井町）の 2 つのプレミアムアウトレットで、お客様を対象にした親子写真撮影会を実施。「親子の日」の普及にご尽力いただき、お客様にも高い評価のイベントを行うことができました。

▲お客様の関心が高かったプレミアムアウトレットでの撮影会風景

7月の第4日曜日は
親子の日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社 ドクタープログラム株式会社

今年で３年目の協賛企業となるキョーリン製薬ホールディングス株式会社は、ドクタープログラム株式会社と共同でプロモーションを展開。たくさんの人たちに「親子の日」のだいじなメッセージを届けてくださいました。

▶ドクタープログラム株式会社トリニティーラインでは、今年も会報誌にて「親子の日」の告知と実施報告を展開。会報誌の他にも、メルマガなどで認知拡大を図ってくださいました。

株式会社円谷プロダクション

年間数多く行われるイベント会場でのチラシ配布と、WEB を通じてのパブリシティーなど、今年もたくさんの会員へのプロモーションをしてくださいました。円谷プロのカレンダーには、今年も「親子の日」が掲載されています。

2014 27 親子の日

J-WAVE

「親子の日」応援企業として、今年は特に映画「OYAKO」の告知に協力をしてくださいました。

株式会社アルファ

ポップの専門メーカー、株式会社アルファでは、ポップを作って「親子の日」の応援を。シールも作成してくださいました。来年度に向けてさらに期待できそうです。

毎日新聞社

特別協力として応援してくださっている毎日新聞社は、今年で６年目になる「親子インタビュー」の記事を継続して掲載。さまざまなフィールドで活躍をする親子に「親子の日」への共感を呼び掛けてくださいました。紙面に登場した親子によって語られたそれぞれの親子のストーリーは、読者が親子について改めて考えるだいじなキッカケになったことと思います。また、映画「OYAKO」の上映会の記事をたくさん掲載してくださり、各地での上映会を成功に導いてくださいました。

▼末吉竹二郎+末吉里花親子（1月26日掲載）

▼北村晴男+北村まりこ親子（6月4日掲載）

▼綾戸ユヅル+綾戸智恵親子（12月20日掲載）

協同組合日本写真館協会とのコラボレーション

2014 年は、日本写真館協会のさまざまなイベントに招待をいただき、「親子の日」と写真館協会の距離がさらに近くなる気配を大きく感じる年でした。地域のイベントでは、会員のみなさまとの交流の場を持ち、「親子の日」のメッセージを伝えたり、写真のワークショップを実施させていただきました。また、会報誌「ザ・写真館」には、「親子の日」や映画「OYAKO」の記事を掲載いただいて、私たちの活動を支援してくださいました。新たな試みとして、日本写真館協会主催の写真コンテストで「ブルース・オズボーン賞 」を受賞した作品を、ポスターイメージとして使用するなど、「親子の日」とのコラボレーションがますます進展しました。また、オリンパスギャラリーで行われた「 写真展～親子の日 2014 に出会った親子～」の別会場（於：オリンパスサロン）に、写真館会員が撮影した親子写真を同時に展示して、写真館の親子写真も紹介しました。

◀「第８回写真館賞」ブルース・オズボーン審査員特別賞に、神奈川県松村スタジオの松村賢浩氏の「スマイルファミリー」が選ばれ、写真館用に作成した「親子の日」のポスターイメージとなりました。

イベント終了後の記念写真

日本写真館協会会員 WEB サイトより

*平沢写真館

*小林写真館

*八重垣写真館

*斉藤スタジオ

*本多写真館

*吉田写真館

*梶山スタジオ

*ホリ写真館

▶徳光和夫+徳光正行親子（7月27日掲載）

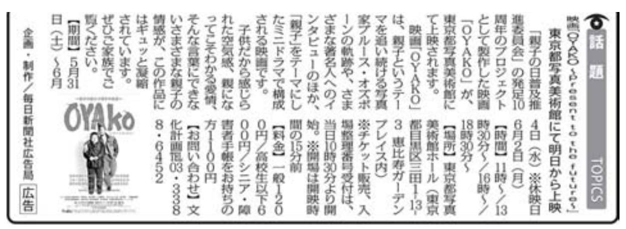
7月の第4日曜日は 親子の日

映画「OYAKO～Present to the Future～」を通じて広がった世界

「親子の日」10周年を記念して製作した映画「OYAKO」が、親子の日普及推進委員会のメッセンジャーとして大活躍してくれた一年間でした。新たに立ち上がった、映画「OYAKO」事務局を、株式会社ワンダーラボラトリーに委託。次年度に向けて、たくさんの人たちに、映画「OYAKO」を見てもらえることが期待されます。

◆ 東京都写真美術館／東京都渋谷区恵比寿

5月31日～6月4日の上映会の会期中には、映画の製作に協力してくださった関係者に加わって、大林宣彦監督やコシノジュンコ様もご来場。素敵なコメントをいただきました。また、安倍首相夫人の昭恵様にも鑑賞していただき、親子という普遍のテーマへの共感をしていただくことができました。



メディアでの告知やスタッフの努力もあって、この上映会がさらに多くの出会いへと発展しました。

◆ 桜坂劇場／沖縄県那覇市

特別協賛企業のオーティコン株式会社の協力で実現した、株式会社琉球補聴器主催の映画上映会が、「親子の日」当日、桜坂劇場で行われ、300人以上の人たちが来場。映画を楽しんでくださいました。

◆ 東北生活文化大学高等学校／宮城県仙台市

10月30日、「ITIE☆会いたい」のワークショップのために伺った東北生活文化大学高等学校の恒例イベント「平和を想う日」で記念基調講演をし、映画「OYAKO」も見ていただくことができました 。

◆ 日本外国特派員協会／東京都千代田区有楽町

5月13日に行われた海外のジャーナリストが加わっての試写会では、さまざまな意見が飛び交い、製作者への刺激となりました。

日本外国特派員協会では、英語字幕をつけた映画を見ていただきました。今後、外国で上映するにあたって、海外の人の反応を知る良い機会となりました。

◆ MOVIX 周南／山口県周南市

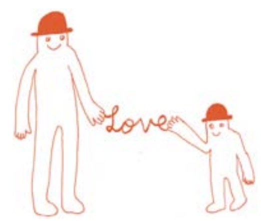
「親子の日」当日の7月28日に、市内にある劇場MOVIXで映画「OYAKO」を上映。Ustreamで東京の撮影会場と映画館が繋がり、放送には井川成正市長も生出演してくださいました。

◆ MOVIX 周南／山口県周南市

東日本震災復興支援イベントの一環として、〈I TIE ☆会いたい〉の写真展開催中の3月29日に、MOVIX周南で映画の上映会を実施。ブルース・オズボーンが記念トークショーを行い、地元の人たちと忘れてはならない東日本大震災への思いを、新たに心に刻みました。

◆ MOVIX 仙台長町・MOVIX 利府／宮城県仙台市

MOVIXのサポートをいただき、宮城県の仙台市と利府町にある2つの劇場で、9月3日から約1カ月にわたる上映会が実現しました。



◆ 逗子文化ホール内「なぎさホール」／神奈川県逗子市

5月2日、葉山芸術祭の一環として、逗子文化ホール内のなぎさホールで、映画の上映会を実施。多くの市民が来場して映画の鑑賞をしてくださいました。上映会の後、映画の製作にあたり楽曲を提供してくださった、Chan-Mika と Ricky-G による、ミニコンサートもあり、会場は大いに盛り上がりました。

◆ 神奈川県庁本庁舎／神奈川県横浜市

〈ファミリーコミュニケーションと「親子の日」〉というイベントの一環として、神奈川県庁本庁舎では、「親子の日」当日に映画上映会をしました。

▼映画「OYAKO」のパンフレット

【映画製作スタッフ】

監督：イノマタトシ（猪股敏郎）
脚本／ドラマ：渡辺 熱
音楽：Morgan Fisher
Rickie-G
Chan-Mika 他
製作：親子の日普及推進委員会

出演：Bruce Osborn
大林宣彦
コシノジュンコ
元木行哉
佐々木裕美
渡辺 熱 他

モーションギャラリー担当：田中勇樹
プロデューサー：石井正人／制作
関 智／広報
総合プロデューサー：井上佳子
ロゴデザイン：Mika Osborn
デザイン：沢田節子 Mika Osborn

映画「OYAKO」上映会事務局
（株式会社ワンダーラボラトリー）
Tel：03-6277-1181
Mail：oyako@w-lab.jp
公式サイト
www.oyako-joeikai.com

7月の第4日曜日は 親子の日

「親子大賞 2014」は平原まことさんと平原綾香さん親子に決定！

親子の日普及推進委員会では、「親子」について考えるきっかけになって欲しいとの願いから、輝いている親子を投票で選ぶ「親子大賞」を毎年実施しています。

８回目となる 2014 年の「親子大賞」に選ばれたのは、マルチサックスプレイヤーの平原まことさんと、シンガーソングライターで、サクソフォン奏者の平原綾香さん親子。2012 年の受賞に続いて 2 回目の受賞です。 ご本人たちからの受賞の言葉をいただきましたので紹介いたします。 投票した皆さまからはたくさんの応援メッセージをいただきました。お二人の親子エネルギーが、少しでもたくさんの人たちに届いて、世の中の元気が倍増するよう、願わずにはいられません。

2014 年の「親子大賞」に選んでいただき、ありがとうございます！普段は、よくおしゃべりをする仲良し親子。でも、音楽を奏でるときは、良きライバル。サックスを演奏するときは、師匠と弟子。
親子大賞への感謝の気持ちを伝えるには、「平原さんちのコンサート」を続けていく事だね。と家族で話してます。

平原まこと　平原綾香

「親子大賞」みなさんの推薦メッセージ

*お父様にあまりある愛情を注がれているあーやも素敵ですし、あふれる愛情を注ぐお父様も素晴らしいとおもいます。親子の絆を本当に感じさせるお二人は、この世情に訴える素晴らしいおやこであり、この賞にふさわしいと思います。

*平原家のコンサートで親子愛を感じたのはもちろんですが、一緒に演奏している仲間や観客にも気遣いができる、当たり前の事ほど難しい人を想うことができる心温かいファミリーです。コンサート以外でも平原家の皆様の行動を見ていると、改めて家族の大切さを考えさせていただけるくらい愛に満ちた家族です。

*親子そろってサックスなどでライブをしたりしてお互いを親子としてではなく、仕事人として敬愛しているのがわかる。

*綾香さんの御姉様である aika さん、そしてお母様も含めて最高で最強の一家です。これからも、どんどん素晴らしい作品を世に送り出して下さい。

*仲が良いし、仕事仲間でもあり、たまにライバル関係（？）なのが素敵！

*平原綾香さんの生き生きした表情は、このパパさんがいたからこそと思います。コンサートのコラボもすばらしかったです。迷うことなく 大賞に推薦します。

*親子という枠を越えてファミリーが素晴らしい。よって当然親子も素晴らしい。

*お二人とも、屈指の音楽家なのに、まるで普通の仲良し親子だから。

*ステージの雰囲気もとても心地よかったのを覚えています。きっと、この親子でしか出せない間合いとかリズムがあるのですね。

*FM 東京のヒーリングヴィーナスを毎週聞いています♪あーやの人柄☆歌が大好きです！その＜父＞平原パパもステキ♪

*お互いを思いやりながら、尊敬しあっているのが伝わってきます。音楽を愛する姿も素敵です。

*音楽家としてのステイタスを確立し、親子が、共鳴、共感、協力し合い、音楽を通して、人々にヒーリング効果を与えている。心の砂漠化が叫ばれる中、貴重な存在であると考える。

歴代の「親子大賞」受賞者

第 1 回目　2007 年
関根 勤＋関根 麻里 親子

第 2 回目　2008 年
森山 良子＋森山 直太朗 親子

第 3 回目　2009 年
三國連太郎＋佐藤浩市 親子

第 4 回目　2010 年
関根 勤＋関根麻里 親子

第 5 回目　2011 年
大竹しのぶ＋ IMALU 親子

第 6 回目　2012 年
平原まこと＋平原綾香 親子

第 7 回目　2013 年
清水アキラ＋清水良太郎 親子

公式サイト「各地のイベント」に登録された情報

「各地のイベント」に登録される親子関連事業が年々増加しています。みなさまがサイトに投稿してくださる事業の内容はさまざまあって、生活全般に「親子」というキーワードが寄り添っていることが実感できます。

NEWS

各地のイベント情報

各地の親子関連イベントの情報ページです。書き込みも出来ますのでご自分で企画されたイベントを登録してください。
登録してくださったイベントの中から選んだイベントの詳細についてインタビューをし、公式サイト内のニュース"Pick up"として紹介をさせていただくこともあります。

*親子で楽しむ「おとあーとコンサート」
（東京 練馬区）

*おやこ☆体操あそび（東京 文京区）

*親子で ENGLISH! CatChat 英語あそび !!!
（東京 港区）

*母と子で一緒に楽しむ映画祭 2014
（東京 港区）

*星ふるまちの生涯楽習フェスタ
（山口県 下松市）

*もっと身近にクラシック♪
（埼玉県所沢市）

7月の第4日曜日は
親子の日

「親子の日」のひろがり

◆「記念日文化功労賞」を受賞

一般社団法人記念日協会から“「親子の日」という発想の豊かさと「親子の日」を通じて、親子の関係から平和を願う活動”が評価されて「記念日文化功労賞」をいただきました。

◆洋之助ファンフェスタ

環境をテーマにした洋之助ファンフェスタが、9月21日、葉山公園で行われました。このイベントで「BRUCE OSBORN-Barefoot Studio」を実施。天候にも恵まれて気持ちよい自然の中、多くの親子と楽しい時間を過ごしました。

◆ネイチャーズベストフォトグラフィージャパン

米国「Nature's Best Photography」監修のもと“日本に住むすべての人”を対象にした自然フォトコンテストの表彰式典が8月13日に行われ、ブルース・オズボーンが記念基調講演をしました（於：赤れんが倉庫）。

◆「親子の日」に親子でオムライスを作ろう作戦！

ビストロパパの 滝村雅晴さんと「親子の日」がコラボで実施しているのが、今年で4回目になる〈「親子の日」に親子でオムライスを作ろう作戦！〉です。 温かいメッセージ付きのオムライスや楽しいアイディアのオムライスの写真の投稿が、数多く集まりました。

◆公益社団法人日本写真家協会主催講演会

第39回2014JPS展のオープニングイベントとして5月23日に開催されたトークショーにブルース・オズボーンが講師として登壇。東京都写真美術館で〈写真の可能性～ソーシャルアクションとしての「親子の日」～〉と題する基調講演を行いました。

◆イクメンフォトコンテスト

育児休暇制度啓蒙活動の一環としてブリストル・マイヤーズ社の主催で行った「イクメンフォトコンテスト」の審査委員長を務め、グランプリに入賞した親子をブルース・オズボーンが撮影して写真をプレゼントしました。

自治体の取り組み

◆高校生フォトグランプリ

9月30日に行われた日本写真芸術専門学校主催の「高校生フォトグランプリ」（協賛：オリンパス株式会社）の審査会で、ブルース・オズボーンがゲスト審査委員として招待されました。

◆Pecha Kucha 20 × 20

1人20枚のスライドを1枚20秒づつモニターに映しながらプレゼンテーションをする“Pecha Kucha 20 × 20”に、デザイナーズウイーク開催中の10月29日､ブルース･オズボーンが登壇。 400秒の持ち時間内で､「親子の日」というソーシャルアクションについて語りました。このイベントスタイルは、東京を拠点に活躍する建築デザイナー、Astrid Klein and Mark Dythamによる企画で、2003年から始まり、今では世界700余りの都市で行われています。

◆かわさきわくわくフェスタ・親子撮影会

12月6日、川崎市産業振興会館4階展示場で行われた親子撮影会で、写真家の熊谷正氏が親子写真撮影会を実施。たくさんの親子参加者の笑顔を写真に収めました。

◆山口県下松市の取り組み

「親子の日」山口県の下松市で正式制定

映画「OYAKO」の製作でご縁をいただいた山口県下松市は、2014年度に「親子の日」を正式に制定。
「くだまつ親子の日」には、「親子でチャレンジ体験ラリー」「くだまつ親子の日生涯楽習フェスタ」などのイベントを、町ぐるみで楽しみました。

下松市と釜石市の高校生が合同ワークショップ

東日本大震災後にスタートした「I TIE ☆ 会いたい」プロジェクトは、被災地の学生たちに写真や言葉で自分の想いを発信することを目的とした「親子の日」の活動の一つです。この活動に共感してくださった下松市では釜石市の学生を下松市に招待。3月31日、本プロジェクトに共感するスタッフとブルース・オズボーンが講師として参加し､映画「OYAKO」の舞台となった笠戸島で、下松市の高校生と合同のワークショップを行いました。

◆茨城県取手市の取り組み

茨城県の取手市では、「親子の日」をきっかけに、親子の絆を考え、町への思いを深めようと、多くの事業が行われ、実施したイベントにはたくさんの市民が参加しました。

取手

議場見学や市へ提言

「親子の日」事業始まる

市への意見を発表する親子の参加者ら＝取手市議会議場

7月の第4日曜日は
親子の日

各地で実施された写真展

写真展会期中に映画の上映会も数多く行われました

◆「親子の日 2014 ～親子の日に出会った親子～」

オリンパスギャラリー

9月11日～24日／東京　**10月3日～16日**／大阪

オリンパスイメージング株式会社との共催で、今年も東京と大阪のオリンパスギャラリー２会場の展覧会を実施しました。オープニングパーティーにはたくさんの方が出席してくださり、「親子の日」への関心を実感することができました。また、会期中には多数の人たちが来場して、温かいコメントをたくさんいただくことができました。
エプソン販売株式会社からは、展示作品の制作にあたり、さまざまなご協力をいただきました。

▲たくさんの人が来場して熱心に写真を見てくださいました

▲主催者からお祝いのご挨拶をいただきました

▲写真館が撮影した親子写真の作品も展示

◆《 過去と未来を繋ぐ物語 》

箱根写真美術館／神奈川県　**4月23日～6月2日**

個性的なギャラリースペースを活用して、30年間に撮影した作品から抜粋した写真を展示しました。

◆《 ブルース・オズボーン写真展 》

吟／奈良県　**6月1日～28日**

奈良の会席料理の老舗「吟」で、奈良では初めての写真展を開催。古都の佇まいが生かされた展覧会となりました。

◆《 ブルース・オズボーン写真展 》

利府町役場／宮城県利府町　**9月6日～30日**

映画「OYAKO」の上映会場、MOVIX 利府に隣接する利府町役場のロビーで、上映会期中に、写真展が同時開催されました。

◆《「I TIE ☆ 会いたい」写真展 》

ザ・モール周南／山口県下松市　**3月28日～4月6日**

3月に実施した東日本大震災復興支援イベント「がんばろう日本フェア」の一環として、「I TIE ☆ 会いたい」写真展が実施されました。

◆《「家族の絆」写真展 》

ザ・モール周南／山口県下松市　**7月5日～10日**

下松市の「親子の日」正式制定記念イベントとして、第１回OYAKO フェスティバルが、ザ・モール周南で行われ、下松市では多くの親子イベントが実施されました。ブルース・オズボーンの親子写真も、市民の憩いの場〈海の広場〉に展示されて、親子というテーマへの再確認の機会となりました。

◆《 日本の親子写真展 》

神奈川県庁本庁舎／神奈川県横浜市　**7月27日**

「親子の日」当日、映画「OYAKO」の上映が行われた神奈川県庁本庁舎の大会議場に於いて、親子コミュニケーションの啓発イベントの一環としてブルース・オズボーンの親子写真展示会を実施しました。

◆《 写真展 OYAKO 》

逗子文化プラザギャラリー／神奈川県逗子市　**4月28日～5月2日**

葉山芸術祭期間中、映画「OYAKO」のプロモーションとして写真展を実施。展示会を通じて、湘南の多くの市民に「親子の日」を知ってもらうきっかけとなりました。

◆《 親子写真展 》

ザ・モール仙台長町／宮城県仙台市　**9月6日～16日**

映画の上映会場となったMOVIX 仙台と同じ商業施設内にあるイベント会場で、写真展を実施。多くの人に映画を見ていただくきっかけとなりました。

◆《 親子写真展 》

ザ・モール仙台長町／宮城県仙台市　**9月6日**

映画「OYAKO」の上映記念として、上映会場となったMOVIX 仙台のロビーにも写真を展示。映画の来場者にも写真を楽しんでいただきました

7月の第4日曜日は
親子の日

国内メディア情報／書籍・DVD・TV・ラジオ・新聞

「親子の日」を紹介して下さっているサイトは更に増えて、たくさんの人に知ってもらうことができました。

◆ 雑誌

＊街未来構想 神田のこれから

神田の胎動をまとめた MOOK「街未来構想 神田のこれから」掲載の為に、神田の親子の肖像を、ブルース・オズボーンが 撮り下ろしました。

▲神田の街角をバックに町とゆかりのある親子を撮影。6ページにわたり掲載されました。

＊湘南スタイル

ACTUS の協力を得て、湘南の親子を撮影するイベント「湘南の親子の日」が、湘南テラスモールで実施されました。「親子の日」が、広がるための強力な応援団です。

＊てんとう虫 UC カード会報誌

クレディセゾンが発行する UC カードの会報誌に、「親子の日」と映画「OYAKO」が紹介されました。

＊相鉄瓦版

「親子の肖像に写るもの」というタイトルの取材を受けました。毎日新聞の「親子インタビュー」でブルース・オズボーンが撮影した、三浦豪太さんとコウケンテツさんも同時掲載されました。

＊ Riddim

レゲーのファンに愛されている雑誌と言えば Riddim 。この雑誌に取材されたことが新たなネットワークへと繋がりました。

◆ DVD

音楽シーンでお馴染みの「マユミーヌ」の新曲「生きる」の DVD に「親子の日」で撮影した写真を提供。温かさが伝わる素晴らしいコラボレーションの作品となりました。

◆ テレビ

＊「七里ケ浜☆（シチリガハマスター）」

ぐっさんこと、山口智充が、湘南を愛する人と語る BS-TBS の番組「七里ケ浜☆（シチリガハマスター）」にブルース・オズボーンが出演。湘南の魅力と親子プロジェクトについて熱く語りました。

＊「桂雀々の大判小判がじゃくじゃく」

落語家の桂雀々が案内人をつとめる、BS12 の「桂雀々の大判小判がじゃくじゃく」に、ブルース・オズボーンと、映画「OYAKO」で総合プロデューサーをつとめた井上佳子が出演。幼少から独り立ちを強いられた桂雀々氏の生い立ちなど、興味深い話を伺うことができました。

＊「国際報道 2014」

国際放送で世界に向けて配信された NHK 国際放送局制作の番組を日本語版に編集した NHK BS の「国際報道 2014」で「親子の日」とオズボーンが関わってきたプロジェクトについて報道してくださいました。

◆ ラジオ

＊ FM 横浜に出演

▲ MITSUMI さんが DJ の番組＜ E-ne! ～ good for you ～＞に出演して、映画や写真展の事など、親子をテーマに話しました。

＊インター FM に出演

▲ジョージ・カックルさんの番組＜ LAZY SUNDAY ＞に出演。「親子」についてじっくり話しました。

＊ FM 西東京に出演

◀ファザーリングジャパンのファウンダー安藤哲也さんが ＤＪをつとめる＜ファザーリング・ラジオ＞で、親子の話に花を咲かせました。

◆ 新聞

＊毎日新聞

連載中の「親子インタビュー」以外にも、毎日新聞にはたくさんの記事が掲載され、「親子の日」の普及に協力をしてくださいました。

＊お母さん新聞

全国で 10 万人の読者を持つ「お母さん新聞」は、新たな企画として「スーパーフォトセッション」で撮影した親子にフォーカス。インタビュー記事とともに親子の写真が「お母さん新聞」の表紙を飾り、「親子の日」の普及に協力してくださいました。

＊ Japan Times

ブルース・オズボーンが 30 年間にわたり、撮影を通じて出会った親子というテーマをメインに、オズボーンの軌跡を紹介してくださいました。

7月の第4日曜日は
親子の日

国内メディア情報／ウェブサイト

◆ ウェブサイト

＊日本記念日協会

＊日本文理大学付属高等学校

＊ VOGUE ブログ

＊葉山芸術祭

＊ Spaceport

＊ IMA ONLINE

＊こんな日みつけた

＊ Motion Gallery

＊ websta

＊末吉里花のオフィシャルブログ

＊ Cinema Today

＊ Spotlight Media

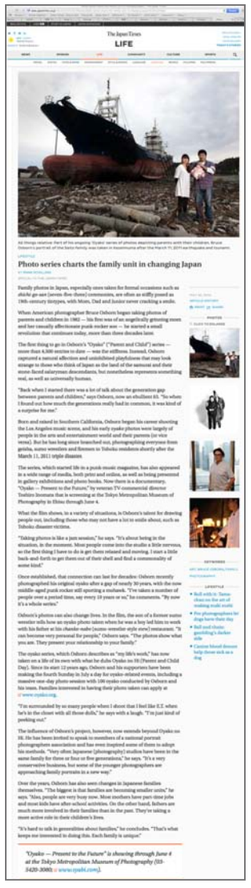
＊ Good Contest

＊愛知県児童総合センター

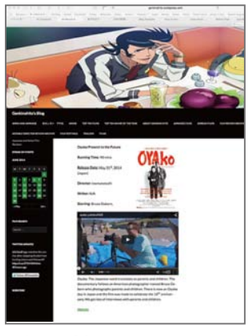
海外メディア情報／ウェブサイト・TV

◆ ウェブサイト

＊ The Japan Times LIFE



＊ Genkinahito's blog



＊ Pecha Kuchaya 20 × 20

NHK World など、海外向けに発信される数々のメディアによって、今年もまた、海外に「親子の日」の存在を発信することができました。

＊ IODA News

＊ Icon Ology

◆TV

＊ NHK World

＊ Olympus Global

＊ Nick Wood

7月の第4日曜日は
親子の日

Facebook・Twitter・mixi ・Instagram・メール・Etc.

みなさまからいただいたすてきなメッセージです。

TAKKO >>
尊敬する写真家、ブルース・オズボーンさんの「親子の日スーパーフォトセッション」に招待してもらいました。ナント一日で 100 組の親子写真をとるそうな…今からなにを着ていこうかと思案中〜♪

よしえ >>
家族全員、緊張して出かけた「親子の日」撮影会でしたけど…会場は、リラックスした雰囲気で、超楽しんでしまいました。いつもよりいい笑顔が作れたかな？？？写真が出来たら、遠くに住んでいるのでなかなか会えない両親に送って、親孝行をしたいと思っています。

山地 >>
オズボーンさんのワークショップを受けて以来、素敵な写真を次々に発表しているオズボーンさんのファンになりました。そのオズボーンさんの撮影会で自分が撮ってもらえるなんて信じられないけど、その機会がついにやってきました。 写真家を目指しているので、どんなふうに撮影するかなど、勉強になったらと思っています。今からソワソワ落ち着きません。

やもめ >>
今年も「親子の日」の季節。という私は、かれこれ 30 年程前からオズボーンさんの写真が好きで、展覧会にはよく行っています。ポジティブでエネルギッシュな作品を制作し続けているオズボーンさんが、これからも素敵な作品を撮り続けられるように、応援しています。頑張ってください！

井尻 >>
「親子の日」の応援ということで、今年 2 回目の親子撮影会を実施しました。第 1 回目より少し慣れて、一日が無事終了！
私たちも、皆さんの笑顔に包まれて楽しい一日でした。
来年も必ず撮影会をしますので、親子の日普及推進委員会のみなさまも、頑張ってください。

白州 >>
先日、高校の同級生と久しぶりに会ったときの事。彼女から「親子の日」って知っているかと聞かれて、「親子の日」があるということを始めて知りました。しかも、今年の「親子の日」は 7 月 27 日だそうで、今年 20 歳になる長女の誕生日です。記念になる素敵な一日を家族で過ごしたいと、今からワクワクです。「親子の日」には優しい響きがありますね。この日をきっかけに、世界中に強い絆で結ばれた親子が増える事を祈らずに入られません。

さきざき >>
＜ある事情＞で、普段なかなか娘に会うことができない父親です。＜ある事情＞は、100%自分の責任で生じたことですので、何も反論出来ない立場ですが、娘への思いは、他のどの父親にも負けないと思っています。先日ある雑誌で「親子の日」があるということを知りました。この日が、世界中の＜ある事情＞がある親子が、素敵な思い出を作れる日になって欲しいと、深い反省とともに願っています。

神泉 >>
出産予定日をひかえ、身重で仕事も思うようにできなくなったある日、「親子の日」の HP を知りました。エッセイコンテストをしているということだったので、エッセイを書いて投稿。そして、なんと入選しました。娘との初めてのコラボレーションへのご褒美でした。

晴天 >>
完全な親バカの父。
その愛を、熱湯のシャワーのように浴びて育ちました。めちゃくちゃ暑苦しかったけど、しあわせものです。
仕事のために、インターネットで「親子」という言葉を検索していたら、「親子の日」のサイトを発見。オズボーンさんの撮った親子写真を見て、私も被写体にして欲しいと思いました。 今年は 7 月 27 日が、「親子の日」だそうです。撮影会に応募します。オズボーンさんに会えますように。

清家 >>
家族のイベントにはほとんど参加しない父。家族には無関心だと思っていたその父が、オズボーンさんの友人だと知って、父のボイントが 1 ランクアップ。わたしが、オズボーンさんの写真が好きだと言うと、わざわざ写真集を購入。しかもオズボーンさんのサイン付き！！の写真集をプレゼントしてくれました。我家の大事件でした！！

雪乃 >>
子どもを授かってからというもの、今まで以上に反応する言葉に「親子」という言葉があります。新聞で「親子インタビュー」という記事を見たのはそんなある日のこと。「親子の日」という記念日があることも知りました。ネットで調べてみたら、たくさんの愛情に溢れた情報がいっぱいあって、夢中で読みました。普通すぎるので忘れていたり気がつかなかったりする大事なことも発見しました。親子という最小限の絆をしっかり見つめることが、世界の平和に繋がるという、だいじなメッセージを心に刻みました。
「親子の日」の応援します。

A 写真館 >>
写真館を営む私は、2014 年の「親子の日」の 7 月 27 日に、近所の住民に声をかけて「 親子の日」の撮影会を開催し、たいへん喜んでいただくことが出来ました。本来、写真館には地元の人たちの記録をしてきたという歴史があります。この原点に返って、町の人たちの家族の変遷を記録出来る「親子の日」に参加出来たことは、非常に意味があることでした。他の写真館にも、ドンドン伝えて、全国の写真館が「親子の日」に親子撮影をする日がきたら…と念願しています。

いくよ >>
自分のストレスが高じて、いけないと思ってもいい過ぎてしまう…私って、本当に情けない親。
今日も、息子を、不機嫌な顔のまま学校に送り出してしまって、猛反省！！！
何となくコンピューターに向かって「親子」と検索していたら、「親子の日」という日があるのを発見！！しかも、それが今日だということ。
HP にいっぱい掲載されているオズボーンさんの親子写真を見ながら、再び反省！！
息子が帰ってきたら優しく迎えてあげようと、心に誓いました。

カンカン >>
友人の家でオズボーンさんの「親子」写真集を見て感激。早速、アマゾンで写真集をゲットして、家族で楽しんでます。
ネットで調べたら、「親子の日」関連のニュースがいっぱい。7 月の「親子の日」には、東京で、オズボーンさんの親子撮影会があるんだそうです。オズボーンさんに会いたいな〜
ダメ元で応募してみます！

＊ Instagram

わたしはぴあの >>
「親子の日」のエッセイコンテストに応募して入賞。「親子の日」のサイトや FB で見た友人や学校時代の先生から、お祝いのメッセージをたくさんいただきました。 私にとって大切な思い出を書き綴ったエッセイでしたので、入賞しての喜びはひとしお。選んでくださった審査委員の皆様、ありがとうございました。

羨望 >>
見てきたよブルース・オズボーン写真展。素敵な写真がズラ〜り並んでる中に、いつもとちょっと違う友達の写真。
うちの親子も撮って欲しい〜

7月の第4日曜日は
親子の日

「親子の日」のあゆみ

2003 はじめての「親子の日」

ブルース・オズボーンの自主企画として 100組の親子を撮影

- 「親子の日普及推進委員会」発足

2004 2回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で100組の親子を撮影

- オリンパスギャラリーにて写真展「親子」を開催
- 第1回「親子の日写真コンテスト」を開催

2005 3回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 100組の親子を撮影

- 「親子の日」を記念日協会に正式登録
- TV金沢の主催により金沢21世紀美術館で「親子」写真展を開催。会場内特設スタジオでの公開親子撮影会で石川県の親子30組を撮影

2006 4回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で105組の親子を撮影

- 日本外国特派員協会にて、写真展「親子」を開催
- 日本写真館協会の主催イベントにて大阪の親子30組を撮影
- 愛知県児童総合センターにて「親子」写真展を開催
- 第1回目「親子の日エッセイコンテスト」を開催
- オリンパスギャラリーにて「ブルース・オズボーンと親子写真」開催

2007 5回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で100組の親子を撮影

- オリンパスギャラリーにて「親子の日報告写真展」開催
- 第1回「親子大賞」を実施
- 愛知県児童総合センターにて「親子」写真展を開催
- 能登半島地震の被災者親子写真を撮影
  石川県のラポルト珠洲で　写真展を開催
  オープニングセレモニーで珠洲市が、「親子の日」の制定を宣言

2008 6回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で100組の親子を撮影

- オリンパスギャラリーにて「親子の日報告写真展」開催
- 愛知県児童総合センターにて、「親子」写真展開催
- 埼玉県越谷市のレイクタウンで「親子＆仲間」写真展開催

2009 7回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 100組の親子を撮影

- オリンパスギャラリーで（東京・大阪）「ブルース・オズボーン 写真展～親子の日 2009 に出会った親子～」開催

- 東京ビッグサイト「Photo Imaging Expo 2009」で撮影とトークイベントに参加
- 毎日新聞が「親子インタビュー」の連載をスタート
- arpの“わたしのこえ”を第1回公式ソングと決定
- 川崎アートセンター企画の「夏休みは親子de映画」で写真展を開催
- 阪急三番街40周年記念イベント「親子写真展」を開催
- 愛知県児童総合センターで 写真展「家族のうれしい顔」を開催

2010 8回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で104組の親子を撮影

- オリンパスギャラリーで（東京・大阪）「ブルース・オズボーン 写真展～親子の日 2010 に出会った親子～」開催
- 滋賀県米原市が、「親子の日」の制定を宣言
- MOOMINの「うまれたての瞳」が2010年公式ソングと決定し、銀座アップルシアターで「親子の日」普及のコラボレーションイベントを実施
- University of the Pacific（カリフォルニア）で、海外初の「親子写真展」開催
- 「親子大使」制度の導入
- ブルース・オズボーンが、「親子」の写真で、International Photography Awardsを受賞。海外でも「親子」の写真が高い評価を受けた
- 第4回キッズデザイン賞にエントリー。入賞を果たす

2011 9回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で110組の親子を撮影

- オリンパスギャラリー（東京・大阪）で「ブルース・オズボーン 写真展～親子の日2011に出会った親子～」開催
- 東日本大震災の被災地訪問プロジェクトを企画。
  第一回目　は相馬の親子撮影を実施
- 米原駅で「水源の里まいばら OYAKO 写真展 ″かけがえのないもの″ with ブルース・オズボーン」を開催
- 第2回目の被災地訪問プロジェクトとして、岩手県の宮古市、大船渡市、釜石市、大槌町、田老町、宮城県の気仙沼、南三陸町で親子撮影を実施
- CIPAフォトエイドの助成を受けて、東日本被災地応援プロジェクト「I TIE ☆ 会いたい」を実施

金沢21世紀美術館での「親子」写真展

愛知児童総合センターでの「親子」写真展

PIEイベント会場

被災地訪問プリジェクト

2012 10回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 110組の親子を撮影

- オリンパスギャラリー（東京・大阪）で「ブルース・オズボーン 写真展～親子の日 2012 に出会った親子～」開催
- NHKワールドで、ブルース・オズボーンの活動が世界に向けて発信される
- 東日本被災地応援プロジェクト「I TIE ☆ 会いたい」ワークショップを、南三陸、仙台市、大槌町、田老町、相馬市で実施
- 滋賀県米原市JR米原駅のステーションギャラリーに於いて「かけがえのないもの～東北で出会った親子たち～」を実施（6月11日～12月26日）。書家の紫舟氏とコラボレーションを
- Twitterを使ったイベント「親子つぶやき大喜利～DNA Circus～」を実施
- 「パパごはん」との共催イベント"「親子の日」にはオムレツを作ろう"がスタート
- 静岡市美術館で「親子写真展～未来の私たちへの贈り物～」開催。ピーター・バラカンとトークショーも（7月22日～8月26日）
- 新宿芸能花伝舎で行われた「新宿でつながろう！東北」で写真展「I TIE ☆ 会いたい」を実施
- 「東日本大震災復興支援ブックレット」を制作
- アル・プラザ城陽で「親子パナー写真展」開催
- 10周年記念イベントとして「親子」をテーマにした映画と書籍の制作がスタート
- 赤坂サカス内のギャラリーで、写真展「I TIE☆会いたい」を開催
- 兵庫県淡路市、南あわじ市で、写真展「I TIE☆会いたい」を開催

2013 11回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で103組の親子を撮影

- オリンパスギャラリー（東京・大阪）で「ブルース・オズボーン 写真展～親子の日 2013 に出会った親子～」開催
- 末広町3331で「I TIE☆会いたい」展示会とワークショップを実施
- 新潟放送主催で「I TIE☆会いたい」展示会とワークショップを実施
- YMCA横浜が「I TIE☆会いたい」展示会とワークショップを実施
- JICAが「I TIE ☆ 会いたい」展示会を実施
- 葉山芸術祭で「I TIE ☆ 会いたい」展示会とワークショップを実施
- 映画「OYAKO」の製作開始を発表（於：クーリーズクリーク）
- 世田谷ものづくり学校でワークショップを開催
- 銀座和光で「親子写真」の展示会開催
- 六本木の新世界でライブトークイベントを実施
- 山口県下松市を映画「OYAKO」のロケ地の一つに決定
- DAYS JAPAN 主催のイベント「いのちの地球に生きる」に参加。被災地で出会った親子の写真を展示
- 韓国で行われた写真館の全国会議で「親子の日」のセミナーを実施のプロモーションイベントを実施。

- 日本写真館協会のイベントに参加 。コラボレーション企画がスタート
- 沖縄で親子撮影会を実施。
- ILCAの学校で映画のプロモーションイベントを実施
- 山口県下松市で展覧会と映画の試写上映会を実施

2014 12回目の「親子の日」

「親子の日スーパーフォトセッション」で 105組の親子を撮影

- オリンパスギャラリー（東京・大阪）で「ブルース・オズボーン 写真展～親子の日 2014 に出会った親子～」開催
- 第11回目「写真コンテスト」、第9回目「エッセイコンテスト」、第8回「親子大賞」を開催
- 「I TIE ☆ 会いたい」プロジェクトとして、下松市と釜石市の高校生のワークショップ開催
- 映画「OYAKO」のプレス発表（於：日本外国特派員協会）
- 葉山芸術祭の企画イベントとして映画「OYAKO」を逗子なぎさホールで上映。同会場で写真展も開催
- 箱根写真美術館で写真展開催
- 東京都写真美術館で基調講演
- 宮城県仙台市と利府町で写真展開催。MOVIX仙台長町とMOVIX利府で映画上映会も
- 日本写真館協会が実施「第8回写真館賞」の審査員をつとめる
- 東京都写真美術館で、映画「OYAKO」の上映会実施
- 山口県下松市で「親子写真展」と、映画「OYAKO」上映会実施
- 「親子の日」当日、神奈川県庁本庁舎、沖縄県名覇市の桜坂劇場、山口県下松市などで映画「OYAKO」を上映
- ネイチャーズベストフォトグラフィージャパンの授賞式でブルース・オズボーンが基調講演を行なう（於：赤れんが倉庫）
- 三菱地所・サイモン主催の親子撮影イベントを実施
- DACグループ主催の第2回「親子の日絆(KIZUNA)コンクール」の審査委員長をつとめる
- 東北生活文化大学高等学校で行われた「平和を想う日」に、ブルース・オズボーンが基調講演行う。映画「OYAKO」も上映
- 「湘南親子の日」で2014年最後の親子撮影会を実施

映画「OYAKO」撮影風景

葉山芸術祭

山口県下松でのワークショップ

映画「OYAKO」
東京都写真美術館
上映後の舞台挨拶

7月の第4日曜日は
親子の日